ーご協力よろしくお願いいたしますー

高須小学校　校長　成重純一

本年度、高須小学校に赴任してまいりました校長の成重純一と申します。本校では、「安心・安全の学校であること」を第一に考え、コロナ禍においてはなおさら保護者の皆さまに安心してお子さんを自宅から送り出していただけるように教職員一同努力しています。その取り組みの一つである健康チェックリストの点検を毎朝行っています。「おはようございます」「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」という挨拶を多くの子どもができています。

挨拶などの基本的な生活習慣は、学校教育だけでは十分身につきません。各家庭、そして、地域の方々の普段のお声がけのおかげであると感謝しています。

直接的なかかわりは難しいでしょうが、今後も、本校の子どもたちの見守りやご支援でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

ーコロナ禍だからこそできる感謝や感動の発見をー

高須小PTA会長　大瀬百合子

地域の皆さまには、平素より高須小学校のPTA活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。この度、ご縁をいただきまして高須小学校 PTA 会長を務めさせていただく事となりました大瀬百合子と申します。依然続くコロナ禍、学校行事はもちろんのこと地域の皆様との交流もままならず、人との関わりを学ぶ大切な時間を過ごせないことが残念でなりません。ですが、このようなときだからこそ、普段は気付けなかった小さなことに感謝の目を向け、何気ない日常の中にあるたくさんの感謝や感動を発見していけたらと思います。先の見えない状況下ではありますが、子ども達の笑顔を守るため、精一杯務めさせていただきたいと思います。皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。

たかす“ちょこっと応援タイ”の活動について

応援タイリーダー　山口保浩（前生活支援相談員）

（これまでの活動状況と更なる活動拡大）

高齢者世帯や障害者世帯などが困っているちょっとした家事作業（公的支援や専門業者に頼むまでもない）をお手伝いする“たかすちょこっと応援タイ”が2018年12月に活動を始めて２年６ヶ月が経ちました。これまで38名(男22名、女18名)のボランティア応援タイ員が、「家庭ゴミ出し、買物代行、電球取替え、テレビ・エアコン等のトラブル対応、大型ゴミ回収運搬、家具の移動、簡単な建具修理、介護施設への入居手伝い、１時間以内で出来る庭の草取り・庭木剪定・伐採、…等々」の応援作業を250回以上実行すると共に依頼世帯とつながり(気兼ねなく相談できる関係）を作ってきました。しかし、お困りの世帯の話が応援タイに届いていないケースが多くあります。その主な原因は応援タイがまだ地域に十分知られていないためだと考えます。**応援タイは高須地区社会福祉協議会の生活支援をする集団です。**日々の生活で困られている家事作業がありましたら、安心して気軽に市民センター駐在の生活支援相談員か近所の福祉協力員に連絡して下さい。応援作業は、連絡を受けたらすぐ応援タイ員がご自宅に伺い現場を調査し、相談した上で作業を実施します。現場調査の結果、引受けできない場合は依頼先（役所や専門業者等）を調査し対応依頼手続きを行います。ご自分の世帯だけでなく、ご近所の困っている世帯に気付いたらすぐに連絡して下さい。応援タイがより多くの高齢者世帯から相談を受ける集団になるように努めます。

◎連絡先はこちらです

☎080-8353-1673(緊急090-8838-9314)

お困りごとを抱えた　受付

地域生活支援相談員お話を伺います

校区社協へ相談⇒福祉協力員・民生委員児童委員・応援タイとのマッチング

行政へ⇒市・区社協や生活支援を行う団体へつなぐ

他団体へ⇒NPO・シルバー人材センター・民間の事業所など

【たかす元気プラン】

第１グループ：　リーダー　田代　香

＜テーマ＞　**人生100年時代・**

気軽に交流できる居場所づくり　交流力アップ！

★５サロン・３カフェを継続し、

さらに楽しい集まりの場にしていきましょう。

「あ～っ！　お元気でしたか?」と笑顔飛び交う高須西の「ふれあいいきいきサロン」やメンズ・カフェ「ふらーっと」！　昨年春から続くコロナ禍で時々休会にしましたが、参加人数を減らし、換気を十分にして開催しています。《**人に会わない、会話がない、動かない**》は、高齢者にはとても良くないですよね。だから、マスクを着けながらも参加者全員で**お口の体操、目の体操、片足立ち運動**等をして交流しています。早くコロナが収束して、高須地区５サロンと３カフェへ気軽に集まれたらいいですね。

★ふれあい昼食会、自治会行事など他団体への協力

第３グループ：

リーダー　木庭幸彦　（副）佐藤好助

＜テーマ＞　**健康寿命２年UP！**

「高血圧ゼロのまち・高須」!を目指そう

★高須は高血圧者が多いそうです。

減塩大作戦！で緑黄色野菜を多くとりましょう。

★コロナウイルスのワクチンの接種が本格的になってきました。しかし、ワクチンだけに頼らず、**毎日、食事や簡単な運動など健康管理が大切です。**

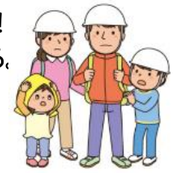
毎朝の「ラジオ体操やロコモ体操会」（夏休みには子どもたちも一緒に）をベースに、いつも体を動かしましょう。コロナ禍でも事態が落ち着いたら、ニュースポーツやウオーキングを計画しますので、是非参加してください。

第２グループ：　リーダー　宮本富士雄　（副）前田　忠行

＜テーマ＞　**地域の組織力・地域力UP！防災・防犯に強い　住みやすいまちづくり**

５月中旬、早くも梅雨入り、異常気象を感じます。また、新型コロナも英国・インド型など変異株の影響もあり第４波の猛威が襲います。更に少子高齢社会の波が私たちの生活様式に変化を求めています。このような状況下、高須地域での「防災」を考えると・・「自然災害対策」「防犯対策」「感染症対策」「認知症対策」等々に万全に備え、誰もが笑顔で暮らせる「高須地域づくり」に知恵を出しあうことが必要です。そのための実施目標は、

1. **自治会組織との連携強化**　地域各団体が緊密な連携で連絡体制を強める。特に自治会と！
2. 「もし、自宅にいて自然災害が起きたら？」を想定し、災害に備え**避難訓練の充実を図る。**
   ①　あなたの場所で**考えられる災害などをアンケート調査**
   ②　**避難待機場所**の再確認　　③**実際に歩いて体験**
3. **認知症にやさしいまちづくり**　地域の高齢化で、認知症の正しい理解を深める。
   第６回たかす認知症行方不明者捜索模擬訓練（11月開催予定）



第４グループ：　第２班リーダー　山本直子

＜テーマ＞　**住みよい高須づくり　～ずーっと住み続けたい高須～**

地域生活支援相談の行政との連携、福祉協力員・民生委員児童委員との情報共有と連携

生活支援相談員（山本・香月）は、日常生活の中でのお困りごとを把握し、支援をしてほしい方と行政や専門の機関、高須地域の「ちょこっと応援タイ」などのボランティア組織とのコーディネートをしています。

どんな相談が寄せられているの？　例えば・・・こんな相談です。

○介護保険の申請をしたいのだけど　　○近所に心配な高齢者がいるんだけど

○隣家が空き家で、木が生い茂って敷地まで伸びている　　○買い物が困難

○玄関の電球がきれたが、高いところは危なくて上れない　などなど・・・

相談員は、行政や民生委員児童委員・福祉協力員・ちょこっと応援タイと連携・協力をすることで、今まで困っていた方の相談先となり、助けになればと活動しています。また、この活動を通して、同じ地域で暮らす住民同士のつながりも生まれてきています。「こんなこと頼んでいいの？」などと**遠慮せずに、まずはご相談ください。**